

地域の会第7回運営委員会・第8回広報委員会 5月18日(火)19:00~22:30

会 場：柏崎原子力広報センター 2F 研修室
出席委員：新野・武本・渡辺(丈)・川口・高橋・田辺
事務局：名塚係長・桑原主任・鴨下事務局長・木村

情報誌について

方向性

- ・ 会のあり方の議論をした上で、情報誌の方向性を定めた方がよいのだが、今回に限り時間の制約もあるので、従来通りの形式での発行とする。
- ・ 情報誌の方向性は、6月定例会の1週間後位に運営・広報委員会を開き(議事録ができ、会の雰囲気をお忘れないうちに)検討する。情報誌が軌道に乗るまで運営・広報委員会合同とする。「視点」原案について(6月5日発行)

構成

- ・ 表紙は委員写真と会の説明、2~3ページは定例会の内容、4ページ目は1年間の歩み、委員を周知するため名簿、編集後記、発電所を巡る動きとした。

表紙

- ・ 表紙の「地域の会」の文字がもう少し引き立つような構成に。
- ・ 地域の会の説明部分をもう少し大きくスペースをとる。
- ・ 委員の顔写真はインパクトがあるので、サイズのこれ以上小さくせず、会議風景や建物の写真を省いて、スペースを確保する。

2~3ページ

- ・ 定例会の内容は、大きく3点くらいのポイントにまとめた。
- ・ 会議内容については、繰り返しの言葉が多く一つの文章が長いので、簡潔にまとめる。
- ・ 保安院が「原子力安全広報課」を新設したという記事の後に、地域の会として保安院に強く要望してきた事、この機関の今後の活動を、地域の会として見つめていきたい旨を記載する。
- ・ 発電所の各プラント状況の表は、少し小さめにし、各号機の停止期間を示した表をプラスする。

4ページ

- ・ 委員の説明の部分は、「会が認める各種団体及び地域の推薦を受けた…」に訂正する。
- ・ 発電所を巡る動きの中に、行政の動きも加える。
- ・ 地域の会の一年間の活動をまとめた写真の部分は少し大きくスペースをとり、表紙の写真とだぶらないようにする。
- ・ 委員名簿の表題は「地域の会メンバー」とし、推薦団体という表記はしない。
- ・ 委員名簿は、会長・副会長の後は五十音順とする。
- ・ 編集後記は、広報委員の方から持ち回りで受け持ってもらおう。(150字~200字)

提言について

- ・ 事務局案について運営委員及び広報委員より、23日(日)までに意見を出してもらい、事務局のほうでまとめたものを、26日(水)頃、各委員さんに配布する。

今後の日程について

- ・ 7月7日(水)午後7時~ ... オフサイトセンター見学及び原子力防災についての勉強会
- ・ 8月4日(水)午後7時~